

北海道 胆振東部地震による被害関連情報

(第1報) 追加・訂正

2018年9月12日

各教区主教様
各教区事務所・教務所責任者の皆様
管区総主事 矢萩新一司祭様

主の平安をお祈りいたします。

9月10日付けでお送りした第1報で、新札幌聖ニコラス教会の被害状況についてお知らせいたしました。その点について、新たな展開がありましたのでお知らせいたします。

新札幌聖ニコラス教会は、この度の地震によって牧師館を中心に壁のクラック、床部分に傾斜が生じるなど、生活に支障がある損傷を受けました。

その後、専門家による建物の診断を受けたところ、詳細は天井や床を切開しなければ確認できないものの、建物の本体構造には大きな問題がなく、最も障害となっている床の傾斜は、何とか修復可能であることが判明いたしました。また、今後もし同規模の地震が生じた場合でも、建物に重大な損傷を受ける可能性は低いことも確認されたところです。

そのため、当初考えておりました、定住者の上平聖職候補生、ご家族の移転は、ご本人の同意をいただき、必要なしとの結論を出しました。

しばらくの間、不便な生活を強いられることとなりますが、早期に修復工事が行われるように善処したいと考えております。

引き続き、この度の地震によって被災し、困難な生活を強いられている方々の上に、主の癒しと平安が与えられますように、また支援に当たる方々に主のみ力が加えられ、導きがありますように、お祈りをお願い申し上げます。

以上

日本聖公会北海道教区 主教 ナタナエル 植松 誠
事務所主事 司祭 コルベ 下澤 昌